## 一年の初めに防災・減災を誓う

1月4日、上ノ国町消防団(田端武光団長)による出初式が町民体育館にて行われ、町内全9分団と婦人防火クラブあわせて約110人が参加しました。

式では各分団による行進・整列に始まり、檜山広域行政組合理事長や来賓からの祝辞のほか、永年消防団として活動して来られた11人の方々への表彰などが行われました。

田端消防団長の式辞では、「突然発生する火災や災害に対し、地域との連携を深め、普段からの行動によって、防災・減災を徹底し、出動にあたっては訓練の成果を発揮して全力で事に当たってほしい」との言葉があり、身の引き締まる出初式となりました。

また、1月10日には、開所以来初となる上ノ国救難所(市山亮悦所長)の出初式が、ジョイ・じょぐらにて開催され、新調された制服を身にまとった所員等約40人が参加しました。

上ノ国救難所は、海難事故などが発生した際、海上での活動技術を持つ地元の漁業者を中心に構成されています。

式の挨拶では、本町で昭和54年に発生した海難事故に触れ、長い歳月、事故が起こっていない事は逆に怖いことであり、いつ起こるかもわからない災害への備えを万全にし、海上の安全確保に全力を尽くしてほしいとのことでした。

## 新年を迎え新春の集い開催

1月9日、新年を祝おうと、「新春の集い」がジョイ・じょぐらにて開催され、約150人が参加しました。

町長や来賓の挨拶の中では、深刻な人口減少問題など、これからの地方活性化についての話があり、これらの解消に向けて、様々な行動を行っていくという力強い言葉がありました。

また、歓談の席では、これから充実した1年を過ごすために何をするか、町をどう活性化させてゆくかなど、新たな思いのなかでこれからの1年間に向けた熱の入った話が交わされていました。

## 寒さに打ち勝つ強い心

1月11日、上ノ国空手道スポーツ少年団による寒稽古が、上ノ国八幡宮などで行われました。

毎年1月に行われている寒稽古ですが、今年は団員約30人が参加し、武道の神様として知られる八幡神を祭っている上ノ国八幡宮にて、1年の無病息災と今後の成長を祈願し、その後、浜辺に移動し寒稽古が始まりました。

今年は幼児・保育園児の入団者が6人と多く、初めての参加で冬の海の冷たさに驚いていましたが、先輩団員の稽古姿を見て、負けじと拳を突き出していました。